

社会資本整備審議会 道路分科会
令和4年度 第2回中部地方小委員会

1. 日 時 令和5年3月8日（水）16:00 ～ 17:10
2. 場 所 名古屋合同庁舎第2号館 3階共用大会議室
3. 出席者委員
○加藤 義人 岐阜大学工学部 客員教授
◎倉内 文孝 岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授
栗原 大介 （一社）中部経済連合会 常務理事
佐藤 久美 名古屋国際工科専門職大学工科学部 教授
山田 恵里 名古屋市立大学大学院経済学研究科・経済学部 講師
※敬称略、五十音順 ◎は委員長、○は副委員長
4. 議 事
令和5年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価
 - ・一般国道414号（伊豆縦貫自動車道）天城峠道路（月ヶ瀬～茅野）
 - ・一般国道153号 飯田南バイパス
 - ・一般国道256号 堀越峠道路

<委員からの主な意見>

【一般国道414号（伊豆縦貫自動車道）天城峠道路（月ヶ瀬～茅野）】

- ・南北方向の伊豆縦貫自動車道に対して、東西方向の道路機能の強化も必要。
- ・事業実施にあたっては発生土が生じるが、県の盛土規制条例等もあるため、自治体の協力も得ながら、進めて頂きたい。
- ・観光客に対して、災害時に機能する道路があるということを発信することが重要。

【一般国道153号 飯田南バイパス】

- ・リニアを踏まえた道路網のアクセス強化が必要。
- ・リニア開通により東西軸の時間短縮は図られるが、スーパー・メガリージョンの効果を広く波及させるためには、南北軸の道路整備が重要。

【一般国道256号 堀越峠道路】

- ・堀越峠道路は、東海北陸自動車道と国道41号をダブルネットワークとして機能を発揮させる東西軸を強化し、堀越峠の非常に走りにくい道路を回避して信頼性の高い道路が確保され、更には、下呂と郡上が有機的につながることにより、観光視点でも重要な路線。
- ・効果1の「ダブルネットワークの代替性を補完する東西軸強化」の表記について、一般の方には言葉の意味が分かりにくいので、「ダブルネットワーク機能を発揮させる東西軸の強化」等に見直すべき。
- ・効果3のリニア効果について、濃飛横断自動車道全体の整備効果となっており、本事業の効果ではないことから、表記を「観光名所間のアクセスを強化することで、リニア中央新幹線の開業効果を東海北陸道沿線地域が享受しやすくなるなど、地域観光を支援」など表記を見直すべき。

<結論>

- ・一般国道414号（伊豆縦貫自動車道）天城峠道路（月ヶ瀬～茅野）
 - ・一般国道153号 飯田南バイパス
 - ・一般国道256号 堀越峠道路
- の事業化については妥当である。

